



コミュニティ政策学会

コミュニティ政策学会

Japan Association for Community Policy

Newsletter No.19 (2010.2.5)

## 第9回シンポジウムのご案内 「コミュニティで公共交通を創出する」

### 開催主旨

2006年の道路運送法の改定以来、公共交通政策は市町村の重要な政策課題となってきている。そして、交通不便地域の拡大と福祉有償運送サービスではまかないきれない交通弱者に対する移動の権利の保障は、コミュニティの課題として認識されつつある。とりわけコミュニティバスは、地域コミュニティの取り組み課題として興味深い特色を有していることが明らかになっている。

今回のシンポジウムでは、コミュニティバス事業は、コミュニティ施設の地域共同管理の可能性を拡大するコミュニティの共同管理領域を拡大するものではないかという視点から議論したい。

開催日時 : 2010年3月28日(日) 13時30分~16時30分

\*午前中に理事会開催予定

開催場所 : 大和市コミュニティセンター 鶴間会館2階 集会室

〒242-0004 神奈川県大和市鶴間2-12-35 TEL 046-276-3736

お問合せ先 : コミュニティ政策学会事務局 TEL 0565-35-7031

主催 : コミュニティ政策学会

共催 : NPO法人 かながわ福祉移動サービスネットワーク

後援 : 神奈川県(予定), 大和市

### 内容

(1) 基調報告 清水 弘子 (NPO法人 かながわ福祉移動サービスネットワーク)  
「コミュニティで公共交通を創出する」

(2) 事例報告 司会 伊藤 雅春 (コミュニティ政策学会理事)

- ① 神奈川県大和市「鶴間地区循環バス」
- ② 神戸市北区淡河町「淡河町ゾーン・バス」
- ③ 高知県中山間地域の過疎の生活を支える移動販売事業

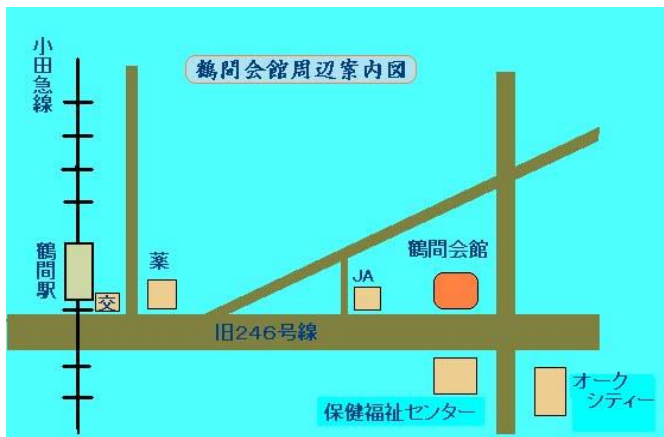
(3) パネルディスカッション

参加費(資料代として) 500円 ※当日会場にて、徴収させていただきます。

**シンポジウム会場案内**

**大和市コミュニティセンター 鶴間会館 2階 集会室**

- ・ 駐車場はございませんので、公共交通機関でお越し下さい。
- ・ 小田急江ノ島線の鶴間駅から徒歩5分です。



**コミュニティ政策学会 第15回理事会議事録**

日時 2009年7月4日(土) 10:00~12:00

場所 サポートホール高松

出席者 中田實、斎藤淳(新潟市長代理)、林泰義、名和田是彦、鯨坂学、安藤周治、大内田鶴子、岡内須美子、木原勝彬、直田春夫、鈴木誠、田中義岳、中西晴史、前山総一郎、宗野隆俊、山口祐子、山崎仁朗、山崎丈夫(事務局)伊藤雅春、鈴木祐子

議長 中田 實

**議事**

**【審議事項】**

第1号議案 入退会者の承認：第14回理事会(2009年3月28日に豊橋市で開催)以降の入会申込者、個人会員5名の名簿が事務局から紹介され承認された。同期間の退会者は、個人会員5名、団体会員1団体であり、本会の会勢は一般会員275名、学生会員37名、団体会員7名、NPO団体2名となっている。

第2号議案 第8回総会への提案事項の承認：

- ①2008年度事業、会計決算案、監査報告の承認
- ②2009年度事業計画案について
  - ・ 第9回のシンポジウムについては、総会で会員から提案を求めるとし、その上で研究企画委員会で検討する旨提案された。時期は、2009年の3月を予定。
  - ・ 機関誌『コミュニティ政策』第8号の刊行について山崎仁朗編集委員長から報告があり、次号の自由投稿について周知する旨提案された。
- ③2009年度予算案の承認。繰越金の扱いについては引き続き協議することが確認された。
- ④第5期の役員を選任の方法について
  - ・ 役員を選考委員会の構成について、会長、副会長、事務局理事に加えて、地域バランスを考え、関西から中川理事、田中理事で構成することを理事会に諮ることを承認。理事については自薦、他薦で公募をして、3月の理事会にはかり、次回の大会で承認する予定を確認。
- ⑤第9回大会の日程と開催場所について
  - ・ 第9回大会は、札幌市で2010年7月10日、11日に北海学園大学において開催することを確認。

第3号議案 国際交流委員会の設置を承認：

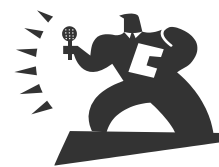
- ①NUSAとの提携の継続と、国際交流委員会(英語名はインターナショナルコミッティ)の設置を承認。当面の立ち上げ委員を大内委員長、前山副委員長、田中、名和田、宗野各理事とする。
  - ②第1プロジェクトは、発展的に解消し国際交流委員会に合流する。当面、国際交流委員会委員と他の委員会委員との兼務を認めることとし、幅広い議論を可能とする。今後アメリカ以外の国との交流についても積極的に進めていく。
  - ③ホームページの英語化を進める。方法と財源については引き続き検討する。
- 第4号議案 日米地域分権フォーラムについて
- ①7月31日から8月3日に流山市、柏市、八戸市、階上町で交流の予定。

**【報告事項】**

- 1. 研究プロジェクト報告
  - ①第3プロジェクト：全4年の2年目として、今年は都道府県のコミュニティ施策に焦点を当てるのと、旧自治省の指定地区(モデル地区、推進地区、活性化地区)すべてについてアンケート調査の予定
  - ②第4プロジェクト：アンケート結果について報告。別紙資料参照)今年の秋に一泊二日の研修会を予定
- 2. 大会運営について
  - ①分科会の運営について：分科会の運営について山口理事より組織的な対応が弱いという指摘があった。山崎仁朗理事からは、自由論題が増える傾向に対応して分科会の設置について再検討を求める提案がなされた。

以上

# コミュニティ政策学会 第8回大会報告



開催日時：2009年7月4日(土)・5日(日)

開催場所：サンポートホール高松(香川県高松市)

今年度のコミュニティ政策学会第8回大会は、7月4・5日(土・日)の両日、高松市のサンポートホール高松にて開催された。大会テーマは、『地域コミュニティの再生と住民、自治体の課題』であった。高松市あげての支援もあって、全国から97名(会員67名、非会員30名)の参加を得て盛大に開催することができた。盛況のうちに大会を終了することができたことに関し、現地の高松市の献身的なご協力と心温まるもてなしの気持ちに心から感謝したい。



大会第1日目は、午前中に理事会(議事録別添)が開催され、午後1時から第8回総会が開催された。総会は前山理事の司会で始まり、中田会長の挨拶の後、山崎丈夫理事を議長に選出、議事を進めた。まず、2008年度の事業、会計決算案の報告、遠藤監査役から会計監査報告があり、承認された。次に2009年度の事業計画として鈴木研究企画委員長から第9回シンポジウムの企画について会員に公募することが提案された。山崎仁朗編集委員長から機関誌『コミュニティ政策7』の刊行の報告と8号の自由投稿についての説明があった。続けて事務局から2009年度の会計予算案の提案があり原案通り承認された。次に第5期役員を選考委員会委員について中田会長より提案があった。加えて理事の公募について説明があり、原案通り承認された。更に中田会長より、第9回の大会日程(7月10日、11日)と開催場所(札幌市、北海学園大学)について提案され、原案どおり承認された。次に、大内理事より国際交流委員会の設置について提案された。加えてNUSAとの協定についての報告があり、原案通り承認された。更に大内理事より『日米地域分権フォーラム』(7月31日から8月3日)の企画について報告と提案があり承認された。

報告事項として、はじめに事務局より会員動向について、次に各研究プロジェクトからそれぞれ経過報告があった。

- ・第1プロジェクト:「近隣政府」と地域分権⇒国際交流委員会に発展的に合流する

- ・第3プロジェクト:わが国コミュニティ政策の総括⇒宮城、広島と愛知の検証を予定  
加えてアンケート調査を予定

- ・第4プロジェクト:地域自治システム⇒アンケート結果の報告について説明、秋に研修合宿を予定  
休憩の後、大会は名和田是彦氏(法政大学法学部教授・第29次地方制度調査会委員・当学会副会長)による基調講演「広がるコミュニティへの政策的関心～近年の地域社会、自治体、国の動向から～」で始まった。

縦割りで見えにくくなっているコミュニティ政策の全貌を見通す上で興味深い内容であった。引き続きコミュニティ行政に熱心な3人の市長による鼎談が、林泰義氏(玉川まちづくりハウス運営委員・当学会副会長)によるコーディネートにより進められた。シンポジストは以下の通りである。

鼎談テーマ:『地域コミュニティの再生と住民、自治体の課題』

- (1) 津村 重光(宮崎県宮崎市長)
- (2) 亀井 利克(三重県名張市長)
- (3) 大西 秀人(香川県高松市長)

とりわけ、宮崎市のコミュニティ税には参加者の関心も高く、この税が防犯灯の負担を巡る議論から生まれたというのは興味深い話であった。



2日目は、5つの分科会が開催された。第1分科会「シティズンシップの醸成」、第2分科会「青少年問題とコミュニティの課題」、第3-1分科会「自由論題」、第3-2分科会「自由論題」、特別分科会「これからのコミュニティづくりの課題と展望—高松市の事例から—」である。自由論題には予想以上の応募があり、学会員の関心の広がりを感じさせる分科会となった。今回は、エクスカッションとして栗林地域コミュニティ協議会の視察をすることができたことを報告しておきたい。

これらの内容と成果は、学会の機関誌「コミュニティ政策8」にまとめられ、市販(会員には無料配布)される予定である。

(文責:事務局担当理事 伊藤 雅春)

コミュニティ政策学会会員動向（2009年3月28日から7月3日）

2009年7月4日(土) 理事会承認

新入会員

No.	個人会員	所属等	推薦人	分類
1	鈴木 孝男	同志社大学大学院総合政策科学研究科	伊藤 雅春	学生
2	樋口 博子	東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻	伊藤 雅春	学生
3	高橋 邦之	愛知学泉大学経営学部 准教授	伊藤 雅春	一般
4	亀山 芳香	滋賀県立大学大学院人間文化学研究科 博士後期課程	丸山 真央	学生
5	桑野 斉	財団法人地方自治研究機構 調査研究部 主任研究員	大内 田鶴子	一般

退会希望

No.	個人会員	所属等	推薦人	分類
1	山下 雅彦	福山平成大学		一般
2	正司 泰一郎			一般
3	辻本 久夫	関西学院大学非常勤講師		一般
4	幸田 雅治	総務省自治行政局行政課長	名和田 是彦	一般
5	和田 正尚	NPO法人 K-I Tシティー・コンソーシアム	鈴木 誠	一般

No.	団体代表者名	団体名	推薦人	分類
1	長与町長 葉山 友昭	長与町		団体

**コミュニティ政策学会 Newsletter No.19**

愛知学泉大学 コミュニティ政策研究所内

〒471-8532 愛知県豊田市大池町汐取1 TEL 0565-35-7031 FAX 0565-35-7020

E-mail [a-compol@gakusen.ac.jp](mailto:a-compol@gakusen.ac.jp)

URL <http://www.gakusen.ac.jp/commu/a-compol/>

発行日 2010年2月5日 編集 事務局 伊藤, 鈴木